

## 石川県を舞台にしたアニメの関連地散策マップ作成による地域の活性化

金沢学院大学・ジャパン・サブカルチャー研究会

中村政仁 川端健太郎 林美可子 村井亮太 加藤遙 宮川陽光

### 1. 地域活動の概要

私ども金沢学院大学のジャパンサブカルチャー研究会は担当教員の酒井先生の元、アニメやそのイベントを使って地域活性への貢献ができないかと思い話し合った結果、聖地巡礼の際に役立つマップを学生視点から作れないかという話になり活動を始めた。また地元の観光協会と話し合った結果、どのシーンがどこにあるかなどのカットインのマップではなく聖地巡礼に来た際にもっと地元のお店を活用しやすくなるようなマップを作ることでまとまった。

### 2. 地域活動の具体的な内容

平成26年

7月14日 湯涌観光協会の方々と打ち合わせのため湯涌温泉地区へ（参加学生6人）

7月21日 ばんぱり祭り点灯式に合わせ、詳しいお店の情報を得る為聖地周辺のお店をしらみつぶしに散策（参加学生6人）

10月11日 ばんぱり祭りお焚き上げに合わせ来訪者へのアンケート調査、前回足りないと思ったお店への追加調査（参加学生4人）

10月12日～13日 花咲くいろはファンを追って泊りがけで能登西岸周辺を調査（参加学生5人）

平成27年

1月27日 アニメイベント以外のイベントを紹介するために氷室仕込みを調査（参加学生4人）

※1



※2

北國新聞 朝刊 2014.10.13付け



## 愛好家向け散策マップ

アニメ  
舞台周辺

金沢学院大生が製作へ

金沢学院大経営情報学部の酒井亨准教授と学生5人は、「花咲くいろは」の舞台を訪れたファンが周辺の散策に使えるマップ作りに乗り出した。12日は初代ラッピング列車の退任式が行われた西岸駅を訪れ、駅から徒步で行ける飲食店などを調べた。写真。

酒井准教授らは、昨年からアニメを県内の地域活性化に生かす研究に取り組んでいる。今回のマップは「花咲くいろは」の舞台となつた金沢市湯涌温泉

や西岸駅、のと鉄道本社がある穴水町を対象地域に、飲食店や観光スポットをまとめる。来年1月に完成させ、3地域に配布する。

※3



※1は点灯式の※2は西岸周辺を散策しようとしているところが新聞に取り上げられた写真。※3は冬の氷室小屋の様子

イベント時は地元の人総動員で参加していて、中にはイベント時はお店を閉めて屋台などを出している人もいた。またぼんぼり祭り時は湯涌にある夢二館が無料開放されていた。ただ無料開放されていることを知らない人が多かったのでもっとアピールしていけたらいいと思う。地元の方々にご協力をいただいて邪魔にならないようにアンケート調査をさせて持った。他にもアンケート調査をつしている団体がいた。

### 3. 活動成果

内容がマップ作りのため地域活性の成果は短い期間では判断できないが、作成された地図は湯湧温泉活性化のために役立つことを願う。学生がイベントなどに参加することで、地元の方々も盛り上がり活性化の手助けとなった。

### 4. 来年度の地域活動計画

来年度は今年度作ったマップが地域活性に役立ったかを調査すると共に、地元の方々と話し合い学生が協力できる地域活性化の活動を行いたい。また昨年度、今年度に引き続きぼんぼり祭り時のアンケート調査も継続して行うつもりだ。湯涌観光協会の方々はアニメ発祥のこのイベントをアニメだけではなく伝統としてこの地域に残していきたいと言っていたのでその手伝いもできたらいいと思っている。また、能登穴水のライダーハウスに宿泊した際にライダーハウスの店主と穴水の観光客誘致ができないかという話になった。余裕があるならこちらの話も進めていきたいと思っている。

### 5. 学生の感想

むかしに比べ喫茶店などが閉店して店数がものすごく減っていた。閉店が増えるとさらに寂れた町になってしまふのでそれを止めなければいけないと思った。平日夕方に湯涌を訪れた際、総湯付近にはこ

れ以上車が入らないくらいに人がいた。昼間は車一台通らないような閑散としたところなので、昼間に来ても暇にならない、楽しめるような場所があれば集客につながると思った。

活動全体の感想としては、今回が初めての課外活動という人が多く、段取りも悪かった。何より中だるみで途中活動にやる気がなくなってしまったことがあった。最初からしっかりと予定を立てておけばこのようなことにはならなかつたと思うので今回の反省点として次回に生かしたい。

あと参加学生からはマップ作りなのに飲食に予算を回したらダメという制約はおかしいなど意見が多くあった。マップを作るためにはお店の詳細な情報が必要なので飲食も必要となる。それをすべて自費なのは学生の自分たちにとっては物凄く痛かった。

## 6. 地域活動に対する地域からの評価

すぐに成果が出ないマップ作りのため地元の方々からは明言を避けられた返答しかなかつたがそれでも「学生にしてはうまく作った」や「昨年の活動より良かった」などの言葉をいただいた。

最後に地図の台紙を載せます

